

いざという時に備えて 近隣で助け合える関係に

「住み良い地域にしたい」という一心で会長を務めて23年。まずは、「近隣の人たちが顔見知りになることが大切」と考え、町会員に声をかけ自宅で定期的に囲碁大会をしたり、お花見や旅行などイベントを催した。おかげで「皆で助け合える」関係を築くことができた。

金物製作の職人として60年以上のキャリアがある小口会長。茨城県から上京し、製造工場や建築金物工場で修行後、30代で独立して足立区へ。自宅兼工場を建て、町会に入会した。様々な部長を歴任し、対外的な調整の手腕を買われ会長になったのは61歳。72歳の時には伊興町自連の連合会長を務めた。

15台の加工機械が常時フル稼働になるほど忙しかった頃も奥様をはじめ町会役員の皆さんに助けってもらい会長職も疎かにしなかった。

約60年、自治会に尽力 お互い様の精神を大切に

一昨年、区制90周年を迎えた足立区と同じ年である。そして、約60年もの間、自治会の役員を務めてきた。会長になって20年が経つ。

昭和39年8月、西新井第三団地ができた当初から団地の自治に参加。昭和40年4月の自治会発足時に事務局長に就任した。以降も副会長、会長と歴任。伊興町自連においても特別相談役として管内の町会・自治会長から頼られている。

会長になったのは団地建替への折。住民の様々な要望について、団地を管理するURとの調整役を務めたほか、敷地内での引っ越しを取りまとめて業者との交渉も担当した。さらに、季節の花々が咲き誇る自治会花壇の整備を始めた中心人物の一人でもある。区のコンクールで最優秀賞19回など入賞を重ねる見事な花壇は住民間の結束力を強固にしてきた。



町会入会は「いざという時のため」と考える。東日本大震災や台風で避難所を開設した際にも避難所運営本部として部員をまとめた。避難してきた町会員が「会長がいてくれると安心」と言ってくれたことも。地域内で火事があった際には町会会館(※)を宿泊場所として開放。「怪我をした人がいなかったことに救われた」と振り返る。会長として「ずっと地域を見守ってきた。今後も皆が安心して暮らすよう事件・事故0を目指したい」。

※町会で保有する集会所



会長職は「よろず相談役」。鍵の紛失時の対応や区の担当窓口など住民から様々な相談事が寄せられる。モットーは「即刻回答」。迅速に答えられるのは、これまでの相談内容や様々な連絡先をまとめたメモがあるから。例えば分からないことでもその場ですぐに調べる。自治会は「お互い様の精神が大切。同じ団地に住むご縁がある皆で力を合わせたい」おかげで花壇ができて、さらに団地内外の皆が喜んでくれる。ありがたいね。

昭和7年生まれ、91歳。趣味は音楽鑑賞。こだわり抜いて揃えたオーディオ機器で音楽を鳴らしリラックスするのが至福のひとつ。お気に入りクラシックやジャズ、美空ひばり。「機材がしっかりしていると音量が控えめでも音に深みが出る。素晴らしいよ」と音楽を楽しみながらも近隣への配慮を忘れない。

会長に訊け!

伊興町自連 特別相談役、西新井第三団地自治会長

平井 利治 Hirai Toshiharu

伊興町自連 相談役、西新井四丁目諏訪木町会長

小口 武男 Koguchi Takeo

昭和14年生まれ、85歳。趣味は「仕事」という現役の金物製作職人。地下鉄の中吊り広告金具、特急電車の折り畳みテーブル金具など身近なものから、国の重要文化財の鏡前まで多種多様な金物を手がけてきた。頼まれた仕事は断らず、途中で諦めたことも無い。必要な工具があれば自らオリジナルで作る徹底ぶり。

町会・自治会に加入する 3ステップ

※自分のエリアの町会・自治会員をご存知の方は直接お申込みください。
(都営・区営住宅は入居時にご案内します)

1 加入方法がわからない方は
下記の方法でお申込み

● ネットで 足立区公式サイトへ



上記QRコードを
読みとってください

ページ内の
加入申込み
専用フォーム
に入力

● 郵送・ファクスで 住所、氏名、電話番号を明記し送付

郵送 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
地域調整課地域調整係宛て

ファクス 03-3880-5603

問合せ 足立区地域調整課 TEL 03-3880-5864

2 該当の町会・自治会から
連絡が来ます

3 加入!



ようこそ!
地域の団結で
安心を!

